

保育の實際

運動會

東京女高師幼稚園 岡崎修子

秋の空は高く眞青です。空氣も澄んでいます。

廣々とした野原にでも行つたとしたらどんなによい氣持でしょう。子供達は自然を相手に夢中になつて遊ぶ事でしょう。おまゝごとをしたり、走つたり、とびはねたり——大人でさえ、じつとしてゐる事の出來ない秋です。此の時季をのがさないように戸外保育を充分行いましょう。

秋は又運動會の時節です。運動會といへば、自分の幼い時の事を思い返してみても、前の日から待ちこがれる氣持、かけつこの前に胸をときめかした事、お遊戯を家の人達に見てもらつたりしな等一年中の一番たのしい事でした。

運動會については、どうすべきかと、時季をひかえて多くの人が考へておられる事だと思ひます。勿論するべき時が來たから、と行事的に、機械的に考へてなさる方が無いとはいへませんけれど、それについても新保育といわれるようになつた今日、「さて運動會は」と考へていらつしやる方があ

のではないでしようか。

それでは始めに「運動會は何のためにするか」という事を考へてみましょう。

身體諸機能の調和的發展をはかる、とか、體力を養うとか、運動を通して社會的の性格を育成するとか、大きく「體育」という目的をもつてきたようなむずかしい事はいくらでもいえるでしようが、其の日一日で體力が出來、性格が完成されるものでもありません。其の一日はどこまでも、三百六十五日中の特別な一日に違ひないので、ですから、つまり普段の日とちがつた氣分のうちに自分もたのしみつゝ、人をもたのしませる愉快な一日であつてほしいのです。秋は十分に此の氣持にさせてくれます。どうぞする時が來たからしなくてはならぬ等と機械的に考へず、子供も、親も、先生も共に樂しむために運動會をいたしましょう。

それではどのようにしたらよいでしよう！

よく「普段のまゝをみてもらうのだ」ということをきくますがこれについて考えてみましょう。前にいつたように運動會というものは特別な氣分の一日です、どこに毎日の保育を運動會のような氣分で行っている人があるでしょう。若しそうしていたら普段と變らぬ氣分のつまらない日となつてしまいます。又家庭でも、子供を参加させる爲、お母様方が普段と違つた心づかいをして下さいます。服装も運動するのにふさわしいものにして下さつたり、御辨當も色々工夫して下さいます。又家を出るときの注意も何時もとは違います。お母様自身何だか不安なような、楽しみなような、すべてが普段とは違ひ特別です。何と楽しい特別なのでしよう。この氣分がよいのです。こゝに意義があるのです。此の氣分が充分味わえるように、かけっこも、お遊戯も、其の他レクリエーション的なものやりましょう。

さて行くものについてですが、これは特別であるからといつて、何をするか分らず、斬らしいものを其の場です、というのではなく、共に楽しむためには、或程度形がとゞのつており、安心した氣持でのび／＼と出来るものでなくてはなりません。

お 遊 戯

此の意味で、子供の創作表現を主としている普段の時間内と違ひ形に出来上つたものをしてよいと思ひます。勿論選擇は自由ですが、餘り期節はずれでなく、子供が好んでする、

しかも複雑でないものにしなすよう。

出来ることでしたら、子供の生活の中の動作に氣をおつけになつていて、子供の生活を本當に知つている先生方が一つにまとめ上げられるようにまでなれたら、と思ひます。

か け っ こ

これをぬかしたら運動會の意味が無い、というくらい、運動會を代表するものです。秒をあらそつたり、そう大して勝敗を氣にするわけでも無く、たゞ自分の力一ばい、皆と走る事が楽しいのです。距離としては三十米位、折返さず直線の方がよいと思ひます。

これには又全體で走る繼走的なものがあります、まだ理解出来ぬ子も多い事です。する場合は年長者でしかも簡單なものを選びましょう。

昨年、袋を自分ではらせ、その上に自由にはり紙をし、其の中に小さな玩具、鈴を入れ、走路の途中にさけておき、それを一つとつて決勝點にゆくのを「おみやげ競走」と名をつけてしましたが、走つていつてさがつているものをとる、という事と、中味は？ という楽しみで又面白いものでした。此の他、家族の方と子供と一緒に走つて走らうなものを考えても面白いと思ひます。

走る場所は出来たら眞直な線がひいてあるとよいと思ひますが、それが無いまでも、隣の人との間を十分にとり、ふれ合つてころぶのを防ぎましょう。

準備

運動會を計畫通り楽しく終らせる爲にこれを完全にしよう。前から少しずつ心掛けておき、前日の午後には一度調べてみる位にしたいものです。

用具（特に銘々を持つてするもの等）は落したり、なくしたりする事を豫想して充分にそろえて置きましょう。

走路等使う所の地面はよくしらべ、小石、穴など危険の無いように注意しましょう。

練習

運動會までの練習ですが、充分にする事は勿論大切だと思いますが、そうかといつて、毎日々々そのみにかゝつてしまふ傾よつたものになつてはいけません。

又場所に馴れるという事も大切です。出たり入つたりも運動の中に含まれているものです。それをまご／＼せずする爲にも出退場を含んだ練習もしてみましよう。

さて、新しい教育だからなんでも新しいものをしなくてはならない、というものでも無いと思います。

こゝにあげたお遊戯、かけっこ等は昔から行われ一向にかわつたものではありません。變らなくてよいのでしようか？ 勿論時代の差こそあれ、子供という本質には、今も昔も變りありません。その子供の生活から生れ出てきた一番自然であ

り、最も生活に近いものなのです。子供は常に新しい、これで吾々を引張り、そして古いものをも新しくならざるを得ない息を吹きかけてくれます。

さあ今年も秋の一日を共に楽しく過しましょう。

○埼玉縣保育連盟の結成

埼玉縣では去月三十日午前九時から埼玉圖書館で縣内の幼稚園、托兒所、保育園などの保育關係者が集合し埼玉縣教育會の保育部會の役員の選舉や運営問題を検討しさらに豫て懸案になつていた埼玉縣保育連盟の組織につき種々協議をかさねた結果これが結成することになつて規約の決定役員の選舉を行いいよ／＼相互の連絡を緊密にして保育振興をはかる目的をもつて連盟が誕生した、因に役員は保育部會長兼連盟理事長長沼依山、副部會長守田義廣同長屋丁部、理事羽島近作繁田くら、岩伴次郎岩佐是光、中村トミの諸氏。